磐城日日

発行所
磐城日日新聞社
福島縣石城郡小名浜町搭廻51
電話387番
振替口座仙台31355番
編集人 高瀬霞
發行人 長瀬芳郎

近代的な無線局完成

水産試驗場に一大威力

福島縣水産試驗場無線局は大正十三年陸上無線局としは開局されたものであるが最近の漁撈情勢並に海難事情から見て、更に強大な威力を有する設備の必要が痛感され菅野場長の奔走により豫算百六十三万円を獲得二十五年度事業として無線局の新設を計畫、作山組、常磐土建の手により、鋭意工事を進めていた處との程完成したので本四日午後二時小名浜町古港小屋内地内の新築局舍に於て落成祝賀式を擧行する事となつた

新築局舍及び附屬官舍は水野小名浜町長の子息水野茂松（東京美校出身）氏の原案設計になるもので近代的な様式を取入れ局舍内部は防音防火に備え總キルク張となし通信業務に完璧を期したものであるアンテナは高サ三十米の木柱二基で架線はT字型を採用、標高三十米の地点であるので計六十米の高サとなり鹽屋岬灯台を除いては石城郡下最高の建築物と言うべく此處より全漁船に對する各種の電波がエーテルの波動を傳えるのである、なお受信機は八球オートダインにて發振機は清澄な音色を持つ水晶發振器を使用、電話は五十ワット電信は五百ワットの出力を持ち一五七〇KC—五七〇〇KCをカバー本縣漁船の行動範圍内は如何なる遠隔地でも完全に連絡が出來る東北に比類なき理想的施設と謂われている

御挨拶

福島縣立水産試驗場長

菅野健一

當福島水産試驗場の無電局は大正十三年全國に魁けて漁業用陸上無電局として開局されたものでありまして、當時の漁船無電施設はわずかに縣指導船磐城丸（木造船七五屯）が一隻あつたのみで而も日本海海戰で有名な信濃丸が「敵艦見ゆ……」と報じた當時の火花式通信を採用した舊式のものでありましたが三十八年を經た今日では縣下の無電施設漁船は三百隻になんなんとし更に益々增加の傾向にあります、即ち無電を離れては漁業の經營はなり立たないと言う現狀にまで發展致しました事は感慨無量のものがあります

然し舊無電局の建物は大正十三年建築されたままのものであつて通信に不便を來たしていました處今回關係各方面の御同情と御理解により理想的な無電局が完成した事は將來の漁業發展上に大きなプラスになるもので非常に喜びに耐えません、就いては今後一層努力して通信の萬全を期すと共に無電を通して本縣漁業發展に貢獻したいと存じます

モノザシ
マス
ハカリ
体温計
寒暖計
小名浜町
資生堂
電147番

永年勤續者表彰

石城郡下教員大會で

教員組合石城支部（部長宮本善門氏）では第十二回大会を三日午前九時半から平第二小校に開き

▽支部細則改正に關する件

▽新三役承認に關する件

などについて協議した後郡下各学校教員永年勤續者に對する廿五年度の表彰式を行つた、近接学校の表彰者氏名は次の通り（カッコ内は勤續年數）

小名浜一小 高木長年（三〇）小松藤治郎 二〇 遠藤止一（二〇）小林きよ子（二〇）小名浜二小 樽子銀二（二〇）小濱常司（二〇）小名浜中 野口留（二〇）紫峰茂三郎（二〇）江名一小 芳賀岩三郎（二〇）高木節子（二〇）穂積豊秋（二五）四家初子（二〇）鈴木正（二〇）泉中 水野武（二五）佐藤すえ（二五）田子さよ（二〇）泉小 樋口道三（二五）鈴木よし（二五）豊間中 大和田一美（二〇）大和田いた（二〇）常磐小 廣川登志雄（二〇）浦山貞一（二〇）野木弘二（二〇）粒來みや（三〇）井上純（三五）湯本小 北郷進（二〇）湯本中 村田ツル（二〇）植田小眞木よし（二〇）磐農高 川附卯一郎（三五）

故星一氏の町葬執行

故參議院議員星一氏の町葬は二日午後一時より錦小学校講堂に於て神葬により嚴かに施行せられた会葬者五百余名、錦町長高木誠一郎氏委員長となり葬儀施行の辭あり知事代理大和田副知事、衆議院議員代表關内正一（代讀山崎與三郎氏）、縣会代表蓮沼議長、民主黨代表縣会議員大井川正巳氏、石城郡町村会長代表鈴木榮一氏、石城郡町村議長会大河原茂平氏、青年講習生代表辯護士七大塚嶺氏、錦町会議長山崎登氏、地元小中学校長代表錦小校長等の弔詞があり終つて親族外順次玉串の奉奠をなし午後三時終了した、次いで一般の參拜に移つたが雨の中先生の遺德を忍び遺績として參集まれに見る盛儀であつた

煙草賣上げ上々

心配される三月の消費

專賣公社平出張所管内の二月中煙草賣上高は割當目標五千五百八十二萬五千円に對し一〇八%の六千七十五萬六千七百十二円でその内譯は朝日廿四万四千圓、ピース五十萬八千円、光五百十三万四千圓、憩二百八十九万円新生二千二百四十三万三千円、バット一千八百廿六万八千円、ききよう五百廿三万三千圓、みのり六百一万圓、寶貴煙一万円、桃山一万二千円、日光一万四千円、となつている、賣上げ高が割當目標額を上廻る成績をみせた事はそれだけ需要が增加したわけではなく下半期の成績優秀者は組合員並に小賣人が地方局から表彰される事になつている爲競爭的に煙草を購入した結果とみられているので三月中の消化に大きく影響するのではないかと平出張所では予想している

小説

雲遙かなり ㊻

伊納川 銀

裸 四

解決すべきものは總べて解決し、全くの自由となつた長田だつた。子供の處置は子供の意志によつて愛子に二人とも任せてしまつた。財産もそれぞれ合議の上配分した。あとは法律上の離婚の手續が殘つているだけである。そして東京に行つた富枝のもとから、準備の整つたよりを待つだけなのである。それ迄愛子の家、つまりは子供達の爲の家にかかりうどとなつているわけである。昨日の夫變じて今日は居候となるといつた形であるとうなる迄には、反對やら勸告やら仲裁やら隨分仲に立つ人があつたのだが、長田は强引に突張り抜いてしまつたのだつた。

「これで完全に裸になつた。」

長田は床の中に腹ばいになつて、煙草をくゆらしていた。氣疲れであろうか、全身悉く武裝して、一切を敵としても氣を張りつめていた時に感じなかつたものが全部自分の思う通りになつてしまつた今になつて、ふつと胸をかすめ去るのである。愛子への憐愍であろうか、子供らへの未練であろうか、或いは自分への悲哀であろうか、故知らぬ侘びしさに深く深く落ちこんでしまうのである。

「何をばかなつ。」と打消しながら、「一体富枝のやつ何をしてるんだ。」と妙に腹立たしくなるのだつた。

「富枝とさえ早く一緒になれば、こんな氣持はふつとんでしまうんだ。」

毎日勤めながら、就職を頼んである長田の知人との連絡と、二人の爲の家を探しに東奔西走している富枝に、こんな事思うのは無理だとは知りつつも遂、愚痴に出る長田だつた。雨は益々激しくなり風は愈々つのつて來た。風速二十米と氣象通報が傳えた台風は愈々刻々と接近しているらしい。家は絶え間なく振動し、時折空中を渡る轟音と共に家は土台からぐらぐらつと大きく揺れた。風のはたと途絶えた瞬間は、車軸を流すような雨の音がその次の瞬間に來る强風を約束するかのように、隙間のない金屬音で地面を叩いていた。

「おい、君。」

一間へだてた奥の間に寢ている愛子にふと呼びかけて、思わず舌打ちした

「はあい。」

何と親しげな愛子の聲かいまいましげに長田は言つた。

「電池の用意しておいた方が良くはないかな。停電するかも知れないな。」

終の方は獨りごとの様に言つて、何か無精に腹が立つて來た。長田はくるつとふとんをかぶつた。物凄い轟音。ぐらぐらつとゆれる家、瞬間、長田の腦裏には、ニッパ椰子の葉を叩いて、怪鳥の影の如く過ぎたグラマンの下に、爪で砂を掘りながら必死に歯を食いしばつている自分の姿がはつきりうつつた。パッと電燈が消えた。

祝福島縣水産試驗場無線局落成

福島縣水産試驗場
場長 菅野健一
主事 遠藤文也
技師 吉川正一
同 大坪雅光
同 瀧内貞
同 緒方光平

無線局
局長 吉川正一
技師 藤田喜一
同 松村卓司

【寫眞は新裝成れる無線局】

福島縣石城郡小名濱町
小名濱臨港鐵道株式會社
社長 竹川久仁
專務取締役 浦田文二郎
電話 一二三〇番 一二七二番

福島縣知事登錄一六三號
福島縣石城郡小名浜町古港
作山工務所
作山安太郎
電話一九番

福島縣知事登錄（イ）第二號
石城郡小名浜町本町五
有限會社 常磐土建工業社
社長 草野道人
電話（小名濱）五四五番

水も洩れない捕物陣はウソです

船舶の盗難に悩む

水上警察か水上班設置

小名浜港内繋留船舶に発生した本年一月以降約二ヶ月間の盗難は公表の分のみで件數十二件、被害額十萬七千三百円でこれに捜査上の理由で未発表となつている件數を加えるときは更に驚くべき數に上り、概ね三日に一件発生したことになる、そこで犯罪續出理由を検討してみると

1、戰後における犯罪多發の風潮

、期間が新舊の正月にあつた

3、朝鮮動亂後船具（金具ロープ等）類が高騰したのと古物商がこれを買漁るため贓品の金錢化が容易である

4、被害船の大半は船員が上陸して空船となつていた

5、港内、岸壁の照明施設がないため犯行を容易にした

6、犯人が檢擧されないので犯意を増長させた

等が擧げられるが手口より見て犯人は二名乃至三、四名の共謀と推定されている特に被害船中には廻船もまた數隻含まれ他縣の船員からまで「小名浜は泥棒の巣窟」だと非難されるような現狀は小名浜にとつて大きなマイナスになつている、對策として船主が自主的に防犯措置を强化するのが先決問題であるとなし昨今船主会を中心とする組織的な自衛力を結集し、自船は自己でまもるという心掛けが要望されているかつて船引場に居住している船主某は船を看視するため二名を船内へ殘して置いたが夜間侵入した顔見知りの男に脅迫され現金四百円を巻き上げられた上、機關部品を窃取するのを默視していた事件がある　これは兇暴な犯人又は集團犯行には一人や二人の船番を置いても効果がないことを如實に示したもので今後は船番を集合して組織力を発揮しなければならないことを訴えているしかも燈火のない船付場は犯人にとつては絶好の場所である、二ヶ月間に十萬余圓の被害があり將來もなお被害の續出が豫想されるので燈火施設に要する費用は唯單に犯罪豫防からばかりなく港灣施設を充實せしめるためにも關係者はその實現を促進する氣運にある —

海上保安部、町警察署の緊密な共同捜査にかかわらず、正月以降に發生した事件は未だ一件も解決せず、且前年度に比較して檢擧率もまた極めて低位にあるので、兩者及び町当局では强力な取締に乘り出すため水上警察署又は町署内に水上班（假稱）等の設置を考慮している

糸姫にも狹き門

片倉製糸の求職者約十倍

平市片倉製絲工場では從業員（女子）の募集を平職業安定所に依頼した所三十名の募集に對し三百余名の應募者があり二十八日午前九時から選こうを行つたが約十倍の應募者が一時にどつと押しかけ、てんやわんやの大騒ぎを演じ係員を面くらわせた

湯本で檢診

湯本町役場衛生課では來る三月五日午後一時から四時まで湯本幼稚園にて一才－六〇才までの希望者にツベルクリ〇注射及びBCG檢診を行うツベルクリンは一名宛五圓、BCG檢診は十五円となつている　尚二月十六日の第一回ツベルクリンを行つた者で檢診をうけていない者は無効であるから三月七日には必ず檢診を受けるよう要望している

常盤ドレメ裁斷講座

植田町本町公認常盤ドレスメーカ女学院（院長宮川道子女史主宰）は從來百名の生徒を擁し充實した設備と優秀なる教師によつて洋裁、服飾、美術手藝編物、料理を指導して來たが更に今春は斯界の權威杉野芳子女史のドレメー式裁斷講座を院長が直接指導する事になつた

生徒募集要領は裁斷科四ヶ月、研究科一ヶ年、本科一ヶ年、夜間科六ヶ月で目下願書受付中で四月五日〆切、四月十日より授業開始する

マフラーで殺す

磐崎美人殺しの顛末

【昨報】磐崎村美人炊事婦殺しの犯人は佐藤常雄と決定興奮狀態にあつたので二日正午頃から本格的取調べを開始三日に一先づ身柄を送檢するが檢擧までに要した捜査陣の延人員は千五百名になつている

尚常雄は東京某鐵工所に六年間勤め二十二年六月長倉坑採炭夫として働いている内窃盜を働き二十四年九月前科のため解職され炭礦の雜夫や土工となつて小使錢を稼ぎ、再び窃盜犯として服役、二十五年六月出所後は土工などをしていた

犯行當日の一月十三日頃は平競輪場の工事に仂いていたが雨のためあぶれ白鳥鑛泉方面に行くべく山道を通行の途中顔見知りの悦子さんに出会つたのを好機としてけんかをふつかけた所、勞務へ話をすると云われたので、つきとばし三十五米下へ引きづり込熊ささの上に倒しマフラーで首をしめ殺し上衣オーバー、腕時計、手提カバンと現金千百十七円を強奪し澤傳いに逃げて日中は山の中にかくれ自宅には夕方五時頃歸宅オーバは湯本町三函小菅染物店へ染め直しにやり、カバンは川に捨て腕時計は平市五丁目荒時計店に千円で賣却何知らぬ顔をしていたものである

同人の家族は実父常松さん(五四)外七人暮しであるが常松さんは誠に眞面目な礦夫であるのに長男常雄は働くことのきらいで酒と映画の好きな所から犯行をなす様になつたものらしい

人命を救助

植田消防團長

去る一日午後八時頃大昭炭礦員橋本重二君(二〇)はシタタカ飲んで植田町番所下附近を徘徊中オリシモ増水中の鮫川河水に千鳥足をさらわれ將に本流に押流されんとしアップ〱の最中警戒中の植田消防團第一分團長橋本喜君外十名の團員に救助せられた

河川改修中

水中に呑まる

好間村大字上好間字大畑土工高橋義雄(二五)さんは一日午後五時ころ上好間字蛇ヶ淵の河川改修工事中折からの雨に好間川が二米ほど増水したためトロッコ線路の流失を防どうとして引き揚げ中足をすべらし川中に轉落作業員と消防團が懸命な探査を續けているが今だに生死不明

天氣概況

【本日】北西の風晴一時曇り北部山沿地方では時雨れることがあるでしよう

【海上】沖合は北西の風で風波は高いでしよう

魚菜市況　3日

【小名濱中央青果市場】

ほうれん草	四、五〜五円
ねぎ	三八〜七〇〃
丸大根	一〇〜二一〃
玉子	八五〃
冬菜	四、七〜五〃
馬令薯	四〇〜七五〃
人參	四〇〜五〇〃
さつま芋	五五〃
キャベツ	三〇〃

【魚市場】時化のため出漁船なし

議員の横顔 ㉗

平支局
梅野生

平市会を牛耳る名議長

"貫録充分" 金古政通氏

"山崎猛と金古政通"筆者が他日評論家になつた場合（おゝ汝ドンキホーテよ）必す評してみたい人物である人物から受ける感じ姓名から受ける感じ、が余りにも共通しているのである、運輸大臣山崎猛は、人間が冷たい、或いは狷介にして孤高とも言われて來たしかしながら茨城縣下から彼が立候補した前選擧の結果、彼は關東第一の驚異的得票で堂々當選した、との隱然たる勢力はどこから來たか、常北太田の山崎私邸から（それも土地の有志が彼に與えた家であつた）吹けば飛ぶやうな筆者を久慈濱までハイヤーで（彼は貧乏で自用車など持たなかつた）送つてくれた時如何にも温かく親爺はまだ〱大丈夫だと思はれた、經歷、政治家としての素質と感覺金古政通は山崎猛に似すぎているのだ、おまけに金古氏が下痢を起して少々頬をそぎ山崎への年齢をプラスの上眼鏡をかけたら風貌まで山崎に酷似している、だから金古氏へのインタービウが常識はずれた時間であつても恐れなかつた、くゞり戸をそつと開けて、玄關へ續く植え込みの八ッ手の葉つぱの間から、泥棒のようにそつと内部を覗くと、ヒッソリ閑と靜まり返つた大邸宅に人の氣配が更にない、そこえ突然コロン、コロロンと妙なる音が聞とえて來た、音がするからには恐らく人がゐる、音の方向に動いて行くと、硝子戸越しに中年のスバラシク綺麗な夫人の手が琴線の上にすんなり伸びていて、音の発源体の前に少女の姿があり琴のおさらい中の風景である、玄關に廻つて「ゴメン下サイ」と聲をかける、琴の音がハタと止んで夫人が現われるのと筆者の後からヒョッコリ金古氏が歸つて來るのと殆んど一緒であつた、仕立ておろしの新しい大島の揃いにキチンと帶をしめた金古政通氏は端麗な偉丈夫である

縣教育審議會平地區審査員、地裁平支部調停委員、いわき民報專務取締役、さうした肩書きの重量感がドッシリ下腹部の膨らみに宿つていて平市会では押しも押されもせぬ名議長振りを発揮しているこれが往年"猛犬金古"とうたわれた硬骨漢金古青年と同一人であろうか弱冠二十五才、白面の金古青年は大正末期現在の平に磐城憲政新聞社を創設、自ら社長となつて稼大なる筆陣を布いた、ほどばしる政治的熱情と何物をも燒き盡さずんば止まずの不屈の鬪魂が、言論界に異彩を放ち、金古、後生恐るべし、と注目された、かくて春秋三十年の風雪に耐えた今日、果せる哉自由黨平支部長のポストが待ち、いまや八面六ビの活躍に、百戰錬磨の強者との金箔が附されて充分なる貫録が備つた、出發時代我武者羅の一点に盡きる風評が、危うくブルドック、秋田の暴犬と叫ばれるところを"猛犬金古"で治まつたのは幸いにも同氏が端麗なる容姿を備えていた故に外ならぬであろう、さればこそマッ子夫人も心の奥に灯がともり、やがてチリ〱と燃え出し、"畢生を托するに足る背の君よ"と、金古青年の胸に飛び込んだのではなかろうか爾來密のような家庭の中でトン〱拍子に金古氏の前途が開けて行つた、まさにホップ・ステップ・エンド・ジャンプである、

※　※

早春の宵浅く、一粒種の通子さんを圍んで、親子三人が慌しい選擧前哨戰の空氣をよそに、忙中閑をぬすんでコタツ會談をする時と、じつとこんな友を相手に盤面に駒を進める時が多忙を極める金古氏に與えられたたゞひとときの心の憩いである、王將（金古氏）と、金（全夫人）と、前進以外にあり得ない可愛い歩（通子さん）の上に榮光あれ

印刷物なら
長瀬印刷所

磐城座
5日一日限り特別上映
【特別有料試寫會】
全米の興奮とゝに爆發す、世紀の覇權かけた
大ワールドシリーズ戰の傑作映畫化遂に來る!!
歡呼の球場
ルウ、プードロー・ボブ。フエラー以下强豪
クリーヴランド、インデイアンス等總出場
ハーバート・クライン監督　ジョージ・ブレント リン・バリ 主演
◎この映畫は單なる野球映畫ではありません、家庭の不和から家出して不良となり恐ろしい犯罪までおかした一少年が優しい野球人たちの協力した美しい人間愛で見事に更生するまでの心温る感激の名篇であり、世のお母さま、お父さま、又心ある社會人にぜひ觀て頂く映畫で御座います。

女中さん急募
二十才より三十才位迄の方
特に經驗者を歡迎す　委細面談の上
社交喫茶
小料理　エビス
湯本町裏町　電話二六三番

魚濱
鮮魚の御用は
何卒魚浜へ
湯本町榮田
庄司浜吉
電話二九番

社告

本社に廣告掲載を申込まれた方で全然掲載されなかつたり、回数や金額、スペース等で御希望に反するような事があつたら御遠慮なく御通知願いますなお本紙のため色々御氣付の点がありましたなら御手数乍ら左記へ御連絡下さい

石城郡小名浜町渚廻五一
磐城日日新聞社
業務部
電話（小名浜）三八七番

社告

業務部長　齋藤伸
依願退職を命ず
平支局次長　梅野隆
本社政經部長を命ず

磐城日日新聞社
社長　長瀬芳郎